

TABLE FOR TWO

これまで給食
90,608,553食分の
ご寄付が集まりました！



ルワンダ バンダ村

教育危機を乗り越え、学び続ける子どもたち

パンデミック初期には世界中の学校が閉鎖されましたが、アフリカ地域では再開後に学校に戻らなかった子どもがおりと報告されており、教育危機が懸念されています。

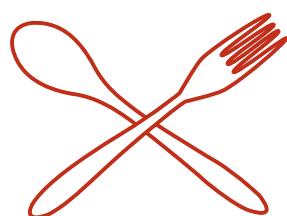
バンダ村では2021年1月の学校再開後、以前とほぼ同数の生徒が学校に戻り、その後の中退も増えていません。休校中に十分な自宅学習ができなかったため、進級できずに同じ学年を繰り返している生徒もいますが、その子どもたちも積極的に授業に臨み、学習を続けています。給食は子どもたちが学校に通い続ける大きな理由の一つです。

あの子の
テーブル



野菜や果物、卵、牛乳などは、主にバンダ村で収穫されたものが給食の材料として使われています。給食室の近くで鶏と乳牛を飼育しており、卵と牛乳は貴重なたんぱく源となっています。食料価格が世界的に高騰するなかで、村内での地産地消の重要性がますます高まっています。

ルワンダ
バンダ村



日本
愛知

世界を繋ぐ ひとつの テーブル

わたしの一食が、
あの子の一食になる。

わたしの
テーブル



トヨタ自動車では9月をボランティア強化月間としており、その一環として、通常水曜日のみのTFTメニューを毎日提供する「TFTスペシャルウィーク」を昨年に引き続き今年も実施します。イントラネット上で告知ページからTFTの資料へ誘導する、食堂のポスター等はSDGsとの関連を目立たせるなど、参加と同時に活動への理解も促している点に工夫があります。



17歳のジョセフ君は小学校5年生です。7人兄弟で家計に余裕がなく、学校に通えない期間がありました。給食のおかげで再び学校に通うようになりました。小学校を卒業した後は中学校に通い、さらに大学に進学したいという夢を持っています。

特集ページでは、より詳細な内容をご紹介します



Japan

Rwanda

TABLE FOR TWO は開発途上国の飢餓と先進国の肥満や生活習慣病の解消に同時に取り組む、日本発の社会貢献運動です。

©TABLE FOR TWO International

CHECK!



社食で採用しているトヨタ自動車をはじめ、学食・カフェ・レストランでの導入や、寄付つきヘルシードリンク自動販売機の設置、寄付つき商品の販売など、様々な形で活動に取り組む企業インタビューをTFT公式サイトに多数掲載しておりますのでぜひご覧ください。